

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載
 【部門区分】第6部門第3区分
 【発行日】令和6年3月18日(2024.3.18)

【国際公開番号】WO2022/264938
 【出願番号】特願2023-529842(P2023-529842)
 【国際特許分類】
 G06T 9/00(2006.01)
 【FI】
 G06T 9/00

10

【手続補正書】
 【提出日】令和5年12月6日(2023.12.6)
 【手続補正1】
 【補正対象書類名】特許請求の範囲
 【補正対象項目名】全文
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【特許請求の範囲】

【請求項1】

20

符号化単位である第1単位に含まれる複数の三次元点の複数の位置についての情報を、前記第1単位より小さい第2単位毎に符号化することで複数の符号化データを生成し、前記複数の符号化データを出力し、
 前記複数の符号化データのそれぞれは、個別の付加情報を有さず、
~~前記複数の符号化データは、共通の付加情報を有し、~~
~~前記共通の付加情報は、前記複数の符号化データに含まれる第1符号化データの大きさを示す第1情報を含む~~
 三次元データ符号化方法。

【請求項2】

前記複数の三次元点の前記複数の位置についての前記情報は、前記複数の位置の各々を、距離成分と第1方向成分と第2方向成分とで表し、
 前記複数の三次元点の前記複数の位置についての前記情報を、予め定められた複数の基準位置を用いて符号化し、
 前記複数の基準位置の各々は、前記第1方向成分と前記第2方向成分とを含み、
 前記第1情報は、前記第1符号化データの前記第1方向成分の大きさを示す
 請求項1記載の三次元データ符号化方法。

30

【請求項3】

前記複数の符号化データの各々は、当該符号化データに終端処理を行うか否かを示す第2情報を含む
 請求項1記載の三次元データ符号化方法。

40

【請求項4】

前記共通の付加情報は、前記複数の符号化データに含まれる第1符号化データの符号化に、前記複数の符号化データに含まれる他の符号化データを用いるか否かを示す第3情報を含む
 請求項1記載の三次元データ符号化方法。

【請求項5】

前記共通の付加情報は、前記複数の符号化データに含まれる第1符号化データの算術符号化に用いられるコンテキストが、前記複数の符号化データに含まれる他の符号化データに依存するか否かを示す第4情報を含む
 請求項1記載の三次元データ符号化方法。

50

【請求項 6】

前記第 1 情報により示される前記大きさは水平角である

請求項 1 記載の三次元データ符号化方法。

【請求項 7】

符号化単位である第 1 単位に含まれる複数の三次元点の複数の位置についての情報を、前記第 1 単位より小さい第 2 単位毎に符号化することで生成された複数の符号化データを取得し、

前記複数の符号化データを復号することで、前記第 1 単位に含まれる複数の三次元点の複数の位置についての情報を生成し、

前記複数の符号化データのそれぞれは、個別の付加情報を有さず、

前記複数の符号化データは、共通の付加情報を有し、

前記共通の付加情報は、前記複数の符号化データに含まれる第 1 符号化データの大きさを示す第 1 情報を含む

三次元データ復号方法。

【請求項 8】

前記複数の三次元点の前記複数の位置についての前記情報は、前記複数の位置の各々を、距離成分と第 1 方向成分と第 2 方向成分とで表し、

前記複数の三次元点の前記複数の位置についての前記情報は、予め定められた複数の基準位置を用いて符号化されており、

前記複数の基準位置の各々は、前記第 1 方向成分と前記第 2 方向成分とを含み、

前記第 1 情報は、前記第 1 符号化データの前記第 1 方向成分の大きさを示す

請求項 7 記載の三次元データ復号方法。

【請求項 9】

前記複数の符号化データの各々は、当該符号化データに終端処理を行うか否かを示す第 2 情報を含む

請求項 7 記載の三次元データ復号方法。

【請求項 10】

前記共通の付加情報は、前記複数の符号化データに含まれる第 1 符号化データの復号に、前記複数の符号化データに含まれる他の符号化データを用いるか否かを示す第 3 情報を含む

請求項 7 記載の三次元データ復号方法。

【請求項 11】

前記共通の付加情報は、前記複数の符号化データに含まれる第 1 符号化データの算術復号に用いられるコンテキストが、前記複数の符号化データに含まれる他の符号化データに依存するか否かを示す第 4 情報を含む

請求項 7 記載の三次元データ復号方法。

【請求項 12】

前記第 1 情報により示される前記大きさは水平角である

請求項 7 記載の三次元データ復号方法。

【請求項 13】

プロセッサと、

メモリと、を備え、

前記プロセッサは、前記メモリを用いて、

符号化単位である第 1 単位に含まれる複数の三次元点の複数の位置についての情報を、前記第 1 単位より小さい第 2 単位毎に符号化することで複数の符号化データを生成し、

前記複数の符号化データを出力し、

前記複数の符号化データのそれぞれは、個別の付加情報を有さず、

前記複数の符号化データは、共通の付加情報を有し、

前記共通の付加情報は、前記複数の符号化データに含まれる第 1 符号化データの大きさを示す第 1 情報を含む

10

20

30

40

50

三次元データ符号化装置。

【請求項 14】

プロセッサと、
メモリと、を備え、

前記プロセッサは、前記メモリを用いて、

符号化単位である第 1 単位に含まれる複数の三次元点の複数の位置についての情報を、
前記第 1 単位より小さい第 2 単位毎に符号化することで生成された複数の符号化データを
取得し、

前記複数の符号化データを復号することで、前記第 1 単位に含まれる複数の三次元点の
複数の位置についての情報を生成し、

前記複数の符号化データのそれぞれは、個別の付加情報を有さず、

前記複数の符号化データは、共通の付加情報を有し、

前記共通の付加情報は、前記複数の符号化データに含まれる第 1 符号化データの大きさを示す第 1 情報を含む

三次元データ復号装置。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0009

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0009】

本開示の一態様に係る三次元データ符号化方法は、符号化単位である第 1 単位に含まれる
複数の三次元点の複数の位置についての情報を、前記第 1 単位より小さい第 2 単位毎に
符号化することで複数の符号化データを生成し、前記複数の符号化データを出力し、前記
複数の符号化データのそれぞれは、個別の付加情報を有さず、前記複数の符号化データは
、共通の付加情報を有し、前記共通の付加情報は、前記複数の符号化データに含まれる第
1 符号化データの大きさを示す第 1 情報を含む。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0010

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0010】

本開示の一態様に係る三次元データ復号方法は、符号化単位である第 1 単位に含まれる
複数の三次元点の複数の位置についての情報を、前記第 1 単位より小さい第 2 単位毎に符
号化することで生成された複数の符号化データを取得し、前記複数の符号化データを復号
することで、前記第 1 単位に含まれる複数の三次元点の複数の位置についての情報を生成
し、前記複数の符号化データのそれぞれは、個別の付加情報を有さず、前記複数の符号化
データは、共通の付加情報を有し、前記共通の付加情報は、前記複数の符号化データに含
まれる第 1 符号化データの大きさを示す第 1 情報を含む。

10

20

30

40

50